

大学院での学びを活かし 臨床の中でも看護研究に取り組む

婦人科・乳腺外科病棟の新人看護師として、日々勉強の毎日を送っています。

自身の経験を研究動機にした卒業論文から、働く若い世代の女性における健康課題について知見を深めたいと思い、本学大学院に進学しました。大学院在学中は多数の文献を読む中で、さまざまな視点で女性の健康課題を明らかにした先行研究に触れ視野を広げることができました。それと同時に、自身の研究疑問を明確化してゆく過程に悩み、文献検討を何度も繰り返しました。本調査の後にも限られたデータを分析し、その結果から看護の視点にどのように活かすか模索しながらの論文執筆でした。その中で学部生時代からお世話になった先生方からは丁寧なご指導や助言をいただき、修士論文を完成させることができました。今後は大学院で学んだ研究方法の基礎や文献の読み方といった研究のための知識を活かし、臨床の中で研究疑問を見つけて看護研究として取り組みたいと考えています。



はたの まき
畑野 真希さん

2023年度修了

国立病院機構大阪
医療センター 看護師

より深い実践の重要性を感じ進学 チーム医療にも貢献できる学びを得る

看護師としての臨床経験を積み、より深い知識とエビデンスに基づいた実践の重要性を感じ、内科脳外科 急性期病棟で働きながら日本福祉大学大学院看護学研究科に進学しました。仕事と学業の両立は決して簡単ではありませんでしたが、学びを実践に活かすことで、より広い視野を持つことができました。大学院では『小児看護学実習における学生のコミュニケーション・スキルの実態と関連要因』について研究し、諸先生方には丁寧な指導をいただくことで量的研究を学ぶことができました。大学院での学びは、自分の成長だけでなく、患者さんやチーム医療にも良い影響を与えると実感しています。今後も医療現場での実践と研究を両立させながら、より良い看護の提供をめざし後輩の育成にも参加したいと考えています。これから進学を考えている方には、ぜひ新たな挑戦を楽しんでほしいと思います。



いけだ よしえ
池田 佳江さん

2024年度修了

JA愛知厚生連 知多
厚生病院 内科脳外科
急性期混合病棟 看護師

大学院生VOICE

長期履修制度を利用して進学 目標は精神科看護の質向上

学生の頃より心のケアに魅力を感じ、「精神看護学」領域で専門性を高めたいと志すようになり、外科病棟を3年経験した後に精神科の単科病院に転職しました。精神科における看護は、コミュニケーションによるケアが重きに置かれているのが特徴であり、試行錯誤をしながら患者様と信頼関係を築いていくことにとてもやりがいを感じていました。中間管理職の立場になった際に、専門性の高い患者ケアやスタッフの教育が十分に行えていないことを実感し、より専門性を高めたいという思いから大学院進学を決意しました。大学院では、精神科看護の質向上のための研究を「モチベーション」の視点から科学的に追究したいと考えています。先生方や大学院の仲間とのディスカッションから新たな気づきがあり、学ぶことの楽しさを実感しています。長期履修制度を利用して子育てと両立しながら、研究課題に対応できる研究力を身につけることを目標に研鑽を積みみたいと考えています。



くろさわ あかね
黒澤 茜さん

2024年度入学生

臨床現場と大学院での研究をつなげ 多角的なスキルアップをめざす

私は本学の看護学部を卒業し、HCUに勤務して5年目を迎えました。日々の看護実践を通して、重症度の高い患者への対応やご家族との関わりの中で、判断に迷う場面や知識の不確かさを痛感することが少なくありませんでした。こうした経験から、看護をより深く学び、自らの実践力を高めたいと考え、日本福祉大学大学院への進学を決意しました。大学院では、院生仲間や先生方とのディスカッションを行う機会が多く、自分の考えを深めるとともに、学問的な観点や多角的な視点を得ることに繋がっています。現場で感じた疑問から研究課題を明らかにするために先行研究を読み深め、修士論文の作成に向けて日々努力しています。修了後は、大学院での学びや研究で明らかになったことを臨床現場に還元することで、科学的根拠に基づいた質の高い看護の実現に貢献していきたいと考えています。



おおこうち こうへい
大河内 康平さん

2025年度入学

JA愛知厚生連
安城更生病院 看護師

施設・設備



図書館



エントランスロビー



院生室

科目等履修制度について

2024年度より科目等履修制度が導入されました。看護学研究科で開講している科目を先行して履修することができ、より具体的に大学院での学びをイメージいただくことが可能です。科目等履修生として修得した単位は入学後に認定され、修了要件の単位に充当することができます。(上限10単位まで)

看護実践研究センター

広く学べるさまざまな研修プログラム

年間を通して、看護の研究方法や看護倫理、多職種連携などをテーマとした看護職向け研修プログラムを提供しており、大学院生も参加できます。また、臨床現場で行う個別の研究に関する相談にも応じています。



詳しくはHPを
ご覧ください